

YAMANASHI CITY

移住ハンドブック

都心から「1時間半」
既住環境完備の自然豊かな
田舎でのびのび暮らし

ぶどう

失敗しない
移住生活
初心者マニュアル



ようこそ やまなし市

はじめての移住も安心
就業マローチャート

ここだけの求人情報
山梨市仕事情報

快適な住まい探しのおてつだい
居住環境さがし

ちよつと移住に際する
"甲州弁"解説



移住で成功する秘訣
子育て支援MAP



目次

山梨市の概要	2
移住までのステップ	4
やまなし市の基本情報	6
就業フローチャート	8
仕事情報	10
子育て	12
子育て支援MAP	14
居住環境	18
中州介紹記	5 11 12 19

私たちの住むこの山梨市は、素晴らしい自然風土と適度に揃った施設や店舗など、暮らしやすいちようどよい加減の印象で、あるうかと思えます。

住人は少しシャイな人格で少し乱暴に聞こえる甲州弁で、もしかすると最初は少し増たく感じてしまうかもしれませんが、しかし、慣れてくるととても温かい人たちばかりです。

山梨市民一同、皆様に移住を心よりお待ちしております。

山梨市は都心から近く
豊かな自然と居住環境の整った
移住にとっても魅力的な地です。



やまなしの仕事

就農フローチャート

これから就農者を目指す方へお伝えしたいこととして、フローチャートをご用意しています。

START

農業をはじめたい!

農業は「食」の分野であり、食生活の安定と健康の維持に不可欠な産業です。また、環境保全や地域活性化にも貢献しています。農業は、自然と調和し、持続可能な社会を実現するための重要な役割を果たしています。

市

山梨市役所農林課

市役所であればご自身の窓口が必ずあります。お近くに相談に行きましょう。
電話は055-25-1111にかけて「農林課」をお願いします。(受付時間)

お問い合わせ先

山梨市役所農林課
〒400-8501 山梨県山梨市本町1-1-1
TEL: 055-25-1111 (受付時間)

お問い合わせ先

山梨県就農支援センター
〒400-8501 山梨県山梨市本町1-1-1
TEL: 055-25-1111 (受付時間)

県

公益財団法人
山梨県就農支援センター

山梨県就農支援センター(青年就農者育成センター)は、新規就農者のワンストップ窓口として開設されています。山梨県農業振興公社内の専用窓口で就農支援コーディネーター(専門相談員)が就農就農希望者の相談にあっています。
農業に興味があり、やってみたいと思っただけでフリーマンには農業がわからない、お困りでは農業がスタートできない人も農業を学び、農業は始められます。農業は農地や水、技術、資金の確保が必要となります。山梨県就農支援センターは、就農に必要な情報を集めてご相談に応じます。
農業に興味があるが、実際に農業をやってみたい方も気軽にご相談下さい。
新規就農相談会などのイベントでは実際にあつちでの就農管理の仕方や支援策、農家のネットや情報など、就農に必要な情報を提供していますのでぜひお気軽にご相談ください。
<http://www.gnrc.jp/>

農業のイメージを確かめる

農業のイメージが伝わるためのステップです。やりたいのは農業の現場か現場か?ここはしっかり決めたいところです。慣れ慣れ、取捨する農地がここで別れる分岐点になります。農業で生計を立てるのは簡単ではありません。たが本気であれば早く、手戻の覚悟が問われます。

まずは、働きながら農業を始めたい。

「農業は苦くない」、まして副業就農なんて!これは農業に関心する人が口を揃えておっしゃいます。そこで虫身を立てるために、まずは会社員等として働き、所得/生活や週末を利用して農業をするという生活スタイルもあります。
実際に、まずは会社員から農家はアルバイトなど多様な選好から農業での働き立ちを模索している方が大勢います。

農業生産法人に入る

研修を受けて農業生産法人に就いて技術や管理することも可能です。パソコンやITでも農業生産法人の魅力を行っています。また、山梨県就農支援センターでは、農業生産法人への就農のサポートをするため、農業インテグレーションを実施しています。

兼業農家からスタートする

日々農業を学び、現在は別の仕事をしながら、可能な範囲で農作業をさせている方も多くいます。ネット研修を受けている仕事をしながら時々農業という暮らしもこれからの兼業農家のモデルになるかもしれません。

勉強から始めたい。

農地から流通・販路までアグリビジネスの知識を学ぶ研修としては、農業大がおすすめです。就農に向けて農作業研修を受けたい方向けの就農トレーニング塾(平日/日食費/国庫2泊体験の農業体験研修会と週末農業塾)や農業経営に関する研修を受けたい方向けの農業やるジャンプ研修なども利用可能です。農業大が校舎ハローワークの職業訓練校にも指定されていますので研修を受けながら学ぶこともできます。就農で就農農業者を目指す方にはおススメの選択になるかと思いますが、詳しくはこちらまで 専門学校農業大大学 (<https://www.paf.yamanashi.jp/naa-study/doc.html>)

専業農家になる

農地を取得して独立することが最終の目的となるかと思いますが、経営の上で情報の共有のためには農家の仲間を作る際の繋がりを重視しましょう。山梨市が展開エリアに入の農地確保は必ず農家のネットワークがあり、個人農業者であってもネットでの繋がりが広がっています。最近ではスマート農業、マルチへの対応、環境にも対応した作物の研究など個人では難しい課題にもグループで挑戦しています。また、実際の仲間だけでなく農業者としての仲間には農・林・漁・山・人関係も、農協行事の参加、農協研修会、農工会、青年会議所活動など人脈作りが農業家への準備になります。

GOAL

農業生産法人・株式会社を立ち上げる

農地の確保・資金の調達・収益の拡大など思う責任は大きい。ここで自分を変えてくれた人・地域に今度は自分が貢献したい気持ちです。地域に責任を定めるのは経営者である農家の責任ではありません。是非とも大きな野心を持って自分の価値を高める気持ちを持ってください。農業はネットが得意な、農家は農業で得意に放つです。こんな農家が揃えば地域の発展に打撃もありません。

